

週刊「中国・アジア・ダイジェスト

2012.03.12~03.16

記事の詳細は、情報検索サービス

『キジサク』でご覧になれます

*記事は東京発行・最終版

CHINA

3月12日(月)

日系車部品、中国に集積

中国南方工業／40社と合弁
中国自動車大手の長安汽車集団を傘下に持つ中国南方工業集団は、日本の大手自動車部品メーカーと現地での合弁事業に乗り出す。投資額は約410億円。3年後に30~40社と契約へ。(1面)サンワテクノス、中国に2拠点
北京・天津／モーター・ロボ拡販

サンワテクノスは、2012年に北京市と天津市に営業拠点を新設する。日本の製造業が中国に生産移管を進める中で、産業機器向けモーターやロボットを拡販するのが狙い。(9面)



中国と流通政策で初の協議

経産省／北京22日

経済産業省は、中国商務部と流通業の規制や課題について協議する「第1回日中流通対話」を22日に北京で開く。流通政策での日中両政府による公式の政策対話は初めて。(15面)

3月13日(火)

中国の新車販売、6社がプラス
日系乗用車7社／2月

トヨタ自動車など日系乗用車メーカー7社の2月の中国新車販売は、6社が前年同月比プラス。旧正月(春節)が今年

は1月になったため、2月は工場や販売店の稼働日が大幅に伸びた。(5面)

商船の建造技術を供与

三菱重工／太平洋造船グループに

三菱重工業は、中国の太平洋造船グループに商船建造分野の技術支援をする。新しい船型の概念設計を三菱重工が提供。契約は5年。まず8万2000t級のバラ積み貨物運搬船を共同開発。(6面)

3月14日(水)

デンソー、公道で実証
交通制御システム／救急車の優先通行

デンソーは、中国・同濟大学と共同

マレーシアで金型の保守などを設計者に指導する「成形スクール」を実施



マレーシアで金型を生産

パナソニック／海外シフト

パナソニックは、マレーシアで難度が高い成形に用いる金型を4月から生産。東南アジアやインドで販売する家電のデザイン強化やコストダウン、金型製造の現地従業員の育成が狙い。(8面)

二次電池の電極材を量産

東洋インキSC／性能向上

東洋インキSCホールディングスは、リチウムイオン二次電池向けに活物質や導電助剤などを溶剤中に分散した電極材料の量産体制を整えた。生産コスト低減や性能向上に貢献。(10面)

タイ南部の工業団地に倉庫

自動車・情報通信関連

近鉄エクスプレスは、タイ南部レムチャバン港近郊のイースタンシーポード工業団地に倉庫を開設した。自動車関連品や情報通信関連品を中心に取り扱う。タイは15拠点7倉庫。(13面)

台湾・中国の2研究者に

化学工学会「アジア国際賞」

化学工学会は、学会賞に「アジア国際賞」などを新設。中国のリーケン・チャン北京工科大学教授と、台湾のユーチエン・ワー台湾清華大学博士の2人の受賞を決めた。特許が2011年度の報告書。(19面)

3月14日(水)

インドネシアに2輪車の新工場

ホンダ／年産26%増、530万台

ホンダは、インドネシアに年産能力11万台の2輪車工場を新設し、2013年秋に稼働する。新たに約3000人を雇用。同国4カ所目の工場で合計年産能力は26%増の530万台となる。(5面)

カネミツ、ブーリーで合併

インド自動車部品大手と

カネミツは、インド・グルガオンに自動車用などのブーリーを生産販売する合弁会社を4月に設立する。資本金は約1億1278万円で、自動車部品大手のニールメタルプロダクツが51%出資。(5面)

三菱重工、海外調達50%

中国・インド拠点強化／現地企業開拓

三菱重工業は、2015年3月期をめどに

で、車両間・路車間通信を活用した交通制御システムの実証実験を江蘇省の公道で始める。救急車や消防車といった緊急車両が信号機の変更を指示。(5面)

原油生産、1.6%増加

2月／天然ガスは10%増

中国国家統計局によると、2012年2月の同国原油生産量は1632万5000tと、前年同月から1.6%増加した。天然ガス生産量は、前年同月比10.2%増の108億5000万立方メートルだった。(時事=11面)

中国の国債、650億元購入枠

日本政府が取得

中国の国債について日本政府が中国当局から650億人民元(約840億円)を上限とする購入枠を取得したと、閣議後会見で住田淳財務相。日中首脳会談で合意した金融連携強化策の一環。(15面)

3月15日(木)

人民元は均衡水準

温家宝首相／相場変動に取り組む

中国の温家宝首相は会見で「実質実効為替相場は30%上昇。人民元は均衡水準に近づいた可能性がある」。その上で「特に相場が(上下)双方向に変動するよう取り組んでいく」。(時事=2面)

3月16日(金)

「モバゲー」中国のブログと連携

D e N A／利用者約3億人

D e N Aの中国子会社は、ソーシャルゲームで中国シナ・コーポレーションと業務提携した。D e N Aが中国で展開する「モバゲー」と、シナの利用者約3億人

次回は -

「中国・アジア・ダイジェスト」
面の次回は4月2日(月)に掲載します。

のミニブログを4月連携。(12面)

モルガン、2製油所と契約終了
ペトロチャイナ買収が背景

米金融大手モルガン・スタンレーは3月末で、英イネオス・グループの欧洲製油所2カ所との石油取引契約を終了する。製油所がペトロチャイナに買収されることが背景。(時事=15面)

東急ハンズ、上海伊勢丹に出店

1万品目／初の本格出店

東急ハンズは、4月に上海市の梅龍鎮伊勢丹に出店する。中国での本格出店は初めて。ヘルスアンドビューティー、トラベルなどを切り口に商品を約1万品目そろえる。(17面)

清華大と次世代自動車の研究
愛知大／インフラ整備・産業政策

愛知大は、清華大学と自動車分野で学術協定を結んだ。燃料電池自動車(FCV)などの次世代自動車の普及に向けてインフラ整備や産業政策などについて共同研究する。(25面)

上海マートに「日本京都館」

京都産業21／販路開拓を支援

京都産業21は、上海世貿商城(上海マート)3階に京都企業の常設展示場「日本京都館」を5月から2013年3月まで開設する。商談の場を常設することで中国での販路開拓を支援する。(31面)

ひと

ターボの如く

「中国でガソリン車用ターボチャージャーの需要を取り込む」と意気込む大同特殊鋼社長の嶋尾正さん。この流れに遅まないと「1月、蘇州市に現地法人を設立し、岐阜県の鋳造工場は拡張して生産能力を倍増」。中国市場の攻略に向け、ターボの如く加速する。(12面=6面)

上げ潮に乗る

「日本から中国にボートを輸出している。販売台数が増えた時、どのような体制が最適か」と、中国生産に含みを持たせるヤマハ発動機取締役専務執行役員の木村隆昭さん。中国で「30~40隻のボートは、需要が伸びる可能性が大きい」と手応え。上げ潮に乗る。(16面=10面)

タイ洪水

OKI、フル操業を再開

プリンター工場

OKIは、タイのアユタヤ県にあるプリンター製造拠点「OKIデータ・マニユファクチャリング」がフル操業を再開した。1月から3割程度で再開、当初は3月末にフル操業を予定。(14面=8面)

の自動車関連や機械関連を中心に、インドで輸出入される貨物の通関業務や陸上輸送などを行う。

日本の「おいしさ」-東南アに

富裕層に狙い/相次ぎ商談会

日本の農産物の輸出促進を狙いに、民間企業や団体が相次ぎ東南アジアで商談会を開いている。東南アジアは富裕層増加で「おいしさ」をモットーとする日本農産物需要が見込める。(17面)

マニュアル作成ソフトを開発

ブルーポート/ベトナム社と共同

ブルーポートは、情報システムの操作手順などを簡便に作れるマニュアル作成ソフト「iTutor(アイチューター)」の最新版を発売した。ベトナムのアトミ・システムと共同開発した。(27面)

みはし、マレーシアで生産

F R P/建築物用内外装

みはしは、マレーシアで装飾柱など建築物用外装・内装関連製品の生産を始めた。繊維強化プラスチック(F R P)製品を手がける。ペナン州に工場を稼働させた。主に日本に供給。(27面)

ひと

牙城を崩せるか

「関西で電力供給が厳しい、LED需要が高まりそう」とジャパンソウル半導体社長の堤伸行さん。世界4位の韓国LEDチップの日本法人。低価格品で攻撃。

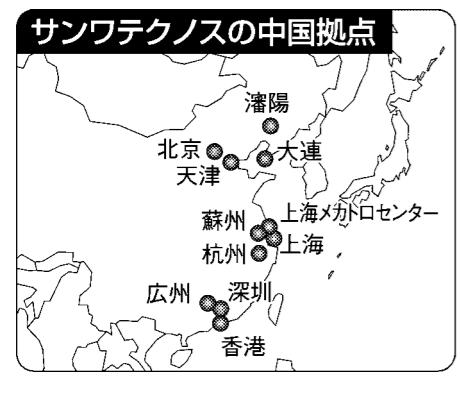
「照明メーカーなどの顧客は一社調達のリスクを感じている」と自信。日亞化学工業の牙城を崩せるか。(12面=9面)

次はインド

「中国特許への需要が高まっている」と説明するのは、日本パテントデータサービス社長の仲田正利さん。中国特許を現地言語で検索できるサービスを始めた。「数年後にはインド特許の需要が高まる」と将来を見据える。自社の成長源にしたいところだ。(14面=9面)

韓国勢は脅威だ

「気を抜いたら(シェアが)ゼロ風ゲームのようひっくり返ってしまう」と白物家電の世界市場を分析するのはパナソニックのアプライアンス社長の高見和徳さん。競合の韓国勢は「新市場への投資(決定)が素早く、脅威だ」という。(14面=8面)



ASIA

3月12日(月)

NEDO、インドネシアで実証
スマートコミュニティ

NEDOや富士電機、住友商事などは、インドネシアでのスマートコミュニティ開発を両国の官民で進める。ジャカルタ近郊の工業団地の電力インフラ整備などの計画書を年内に完成。(1面)

モンゴルで自然エネルギー開発
ソフトバンクなど

ソフトバンク、韓国電力公社・モンゴルの投資会社のニューコムグループは、モンゴルで自然エネルギーの開発をすることを基本合意した。モンゴル初の風力発電事業への出資も検討する。(2面)

スズキ、ミャンマーに再進出
4輪車の生産合弁を設立

スズキがミャンマーへ再進出する。現地資本企業と4輪車を生産する合弁会社を設立する計画。ノックダウン方式を採用する。2010年末に清算した旧合弁会社のヤンゴン工場を再利用。(6面)

日本台の中小50社が交流会

植物工場や金属加工など

台湾の経済部中小企業と工業技術研究院は、台北で日本と台湾の中小企業のビジネスマッチング会を開催。日本側は植物工場や金属加工など9社、台湾側は化学会社のヤンゴン工場を再利用。(2面)

日本と台湾の中小企業のビジネスマッチング会(台北市)



アジアの「新中間層」獲得

経産省／6月めど報告書

経済産業省は、アジア諸国に生まれている巨大な中間所得層市場を獲得するための戦略策定を始める。「新中間層獲得戦略研究会」を新たに立ち上げ、6月をめどに報告書にまとめる。(2面)

台湾・専用工業団地の募集開始

中国市場を開拓

台湾政府は、日本企業専用工業団地「T Jパーク」の入居企業の募集を始めた。台湾南部の台南市に位置し、広さは32万平方㍍。台湾と協力して中国市場を開拓する機運が高まる。(3面)

三条機械、インドで鍛造部品

ホンダ・スズキに供給

三条機械製作所は、自動車用エンジンの鍛造部品生産でインドに進出する。新工場を建設、2013年10月稼働。アジアで4輪・2輪車の生産を拡大するホンダやスズキ向けを中心に供給。(5面)

『旗艦モデル』ベトナムで発売

ヤマハ発動機は、電子制御式の燃料噴射装置を搭載した排気量125CCの2輪車「ヌーボーS X」を3月下旬にベトナムで発売する。燃費を16%向上した『旗艦モデル』。販売目標年12万台。(5面)

東レ、日米仏韓で増産
世界年産能力2万7100t
東レは、約450億円を投じて炭素繊維

マレーシアで金型の保守などを設計者に指導する「成形スクール」を実施

